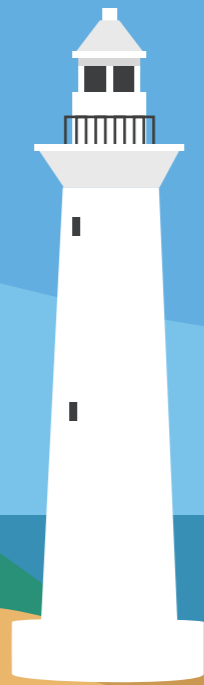




音吉とシンガポール

1832年、美浜町小野浦出身の船乗り音吉は、遠州灘にて嵐にあい遭難しました。その後、日本人で初めてアメリカとロンドンに上陸し、マカオで世界初の和訳聖書の作成に協力しました。また、日英和親条約の締結に携わるなどし、1867年、最後はシンガポールで波乱の生涯を閉じました。美浜町の偉人であり、国際人の音吉が繋いだ絆がきっかけで、草の根国際交流がはじまり、現在も美浜町とシンガポールの友好的な交流が続いています。



東京2020オリンピック・パラリンピック

美浜ホストタウンプロジェクト

愛知県美浜町企画課企画政策係

電話：0569-82-1111（内線227）

Email：kikaku@town.aichi-mihama.lg.jp

美浜町がシンガポールの ホストタウンに 登録されました！

～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～

愛知県美浜町は、本町出身の幕末の漂流民「音吉」と歴史的につながりが深く、愛知万博1市町村1国フレンドシップなど、これまでの小中学生の相互交流などが認められ、「シンガポール共和国」のホストタウンとして登録が決定しました。



ホストタウンとは

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、

- (1)大会等に参加するために来日する選手等
- (2)大会参加国・地域の関係者
- (3)日本人オリンピック・パラリンピアン

これらに掲げるすべての者と地域住民との交流を促進し、参加国との相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げ、地域の活性化、観光振興等を推進する取り組みです。愛知県内では、現在、豊橋市(ドイツ他)、稲沢市(ギリシャ)、豊田市(英国)、名古屋市(フランス他)、半田市(中国)、美浜町(シンガポール)の6市町がホストタウンとして登録されています。今後は、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした、シンガポールとのさらなる友好的な交流に加え、日本福祉大学スポーツ科学部と連携したスポーツ交流などの取り組みを実施していきます。

国のホストタウン概要はこちら

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/hosttown_suisin/index.html

美浜町ホストタウンプロジェクト ～これまでの歩みと2020年に向けて～

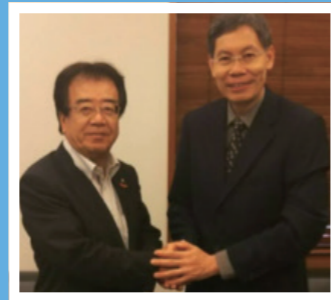
美浜町出身の幕末の漂流民「音吉」のご縁から、愛知万博1市町村1国フレンドシップを契機としたこれまでの小中学生の相互交流などが認められ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において「シンガポール共和国」のホストタウンとして登録が決定しました。

また、2017年は「音吉」が生誕200年の年でもあり、地域の偉人である「音吉」の生誕200年を記念し、遠州灘での漂流からシンガポールでその生涯をとじるまでに築き上げた国際社会発展への功績を、幅広く顕彰するためのメモリアル事業を実施しました。これまでの歩みと、これからについてご紹介します。

2017年7月7日（金）ホストタウン第4次登録申請において登録決定
7月25日（火）駐日シンガポール共和国大使館 ルイ・タックユー特命全権大使訪問

美浜町長が駐日シンガポール共和国大使館を訪問し、ルイ・タックユー特命全権大使と面会しました。「音吉のご縁より始まった交流や、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会におけるホストタウン登録について大変喜ばしく、シンガポールと貴町との特別な友好関係をさらに深めていけるよう、密に関われることを期待している。」とお話いただきました。

握手をするルイ・タックユー特命全権大使と神谷美浜町長



8月24日（木）～8月29日（火）美浜町フレンドシップ草の根国際交流事業
シンガポール学校交流の旅（小中学生等31名シンガポールへ）

美浜町の小学生15名と中学生9名をシンガポール共和国へ派遣し、ニーアン中学校・イーミン小学校での学校交流や、ホームステイ体験、国際交流のきっかけとなった「音吉」ゆかりの地を巡るなどして交流を深めました。

シンガポール・マールライオン公園にて



8月26日（土）～10月8日（日）
美浜町図書館コレクション「音吉」特別展（図書館）

音吉生誕200年を記念して音吉特別展が開催されました。



9月7日（木）シンガポール共和国独立記念レセプションへ出席
町長夫妻と音吉顕彰会関係者が、駐日シンガポール共和国大使館より、シンガポール共和国独立記念式典へ招待されました。今後もシンガポール共和国と本町が末永く友好的な関係が続くようにと、握手を交わされました。



10月6日（金）第56回聖書和訳頌徳碑記念式典～音吉生誕200年記念～

世界初の聖書和訳に関わった「音吉」ら3名の功績を称える聖書和訳頌徳碑記念式典が、小野浦で開催されました。今年には和訳聖書出版180年の節目で、駐日シンガポール共和国大使館ショーン・ウォン一等書記官や、愛知県副知事も御臨席いただき、125名の地元住民らが献花を行いました。



記念式典集合写真

10月8日（日）音楽劇「音吉物語」美浜公演

「音吉物語」が総合公園体育館サブアリーナで開催され約450名の観客が来場しました。第一部では、第41回全国高校総合文化祭最優秀賞を受賞した日本福祉大学付属高等学校和太鼓部が「音吉」らの生涯を題材にしたオリジナル曲「絆～和太鼓組曲『海嶺』より」を演奏しました。第二部の演劇では、遭難からシンガポールで生涯を閉じるまでの半生を描いた演劇に、観劇者の感動を呼んでいました。



演劇には日本福祉大学付属高等学校演劇部員や町民エキストラも参加しました

11月10日（金）～11月13日（月）

美浜町フレンドシップ草の根国際交流事業シンガポール学校交流（ニーアン中学校美浜町受入事業）

シンガポール共和国のニーアン中学校から生徒14名・教師3名が来町され、町内のお宅で3泊4日のホームステイを体験し野間中学校にて学校交流を行いました。交流事業の“縁”をつないだ「音吉」について触れるなどし、国際交流を行いました。



体育の授業で綱引きに挑戦

2020年オリンピック・パラリンピックに向けて・・・

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで残り2年を切りました。2018年度は、シンガポールと更なる交友を深め、地域や日本福祉大学と協力し、オリンピックを盛り上げるための事業を実施する予定です。

<2018年度事業予定>

パネル展 「シンガポールと美浜町の繋がり～すべては音吉から始まった～」 これまでのシンガポール共和国と美浜町の繋がりについて示したパネル展を実施します。

